

令和3年度
学校評価 [後期(10~2月)]



大田市立北三瓶小・中学校



北三瓶小・中学校 学校教育目標



“幸せ”を求めて仲間とともに挑戦しようとする子どもの育成
～ 次代を生き抜く力を育む ～



めざす子ども像



「あれ?」「
「やってみよう!」

学びを
つなぐ
子ども

自他を
大切にする
子ども

「ありのまま!」
「なんとかなる!」

自他を
大切にする
地域・社会

めざす地域・社会像

学び
続ける
保護者

めざす保護者像

自他を
大切にする
保護者

学び
続ける
地域・社会

「なるほど!」
「やってみよう!」

学び
続ける
職員

自他を
大切にする
職員

「ありのまま!」
「なんとかなる!」



めざす職員像

【基本方針】

- ◆義務教育学校移行に向けた小・中連携を加速させる（9年間を見通した教育課程の作成／キャリア・パスポートを柱とした基礎的汎用的能力の共通理解／道徳教育・特別活動の充実・推進による認め合い支え合う思いやりのある学級集団の育成／特別支援教育の充実・推進）
- ◆人権・同和教育を基底に据えた教育活動を行う（「隠れたカリキュラム」を意識した言動）
- ◆学習指導要領を確実に実施する（生きる力を育むためのさらなる授業改善）
- ◆“地域の中の学校”を意識したふるさと教育を推進する（“地域を元気づける学校” “SDG sを意識して”）

“めざす子ども像” “めざす職員像” 達成状況評価のための具体的な質問項目を次のように考え、これを数値化して『学校評価』『学校関係者評価』『学校運営協議会評価』とする。

“めざす子ども像” 達成状況評価のための質問項目 ～ 「誰もが通いたくなる学校」にするために ～			
	人と人とのつながりを大切にする 子ども	学びをつなぐ 子ども	自他を大切にする 子ども
自己評価	みんなが居心地のよい学校にしたい	勉強したことをいかして 新しいことを考えることがある	自分も友だちも みんな大切な人である
	友だちと意見がちがうときは 自分も友だちも納得できることを考えようとする	友だちの考えを聞いたり調べたりして 自分の考えをもう一度考え直すことがある	自分の夢や目標に向かって努力している
	相手の気持ちを考えて 発言したり行動したりしている	予習や復習をしている	友だちを大切にしている
	相手の気持ちを考えることがある	自分の考えをまとめたり伝えたりすることは好きだ	北三瓶が好きだ
	友だちといっしょにいるのは楽しい	自分のいいところや悪いところがわかっている	自分のことが好きだ
	勉強がわかるようになりたい		
他者評価	子どもたちは“地域のことを考えている。”と思う	子どもたちは“協力し合って勉強している。”と思う	子どもたちは「友だちのことを大切にしている」と思う
	子どもたちは“地域の人に挨拶をしている。”と思う	子どもたちは“協力し合って勉強している。”と思う	
	子どもたちは“会話が上手である。”と思う	子どもたちは“宿題や勉強を自主的にしている。”と思う	

“めざす保護者像” 達成状況評価のための質問項目 ～ 「子どもを通わせたい学校」と思えるようになるために ～			
	人と人とのつながりを大切にする 保護者	学び続ける 保護者	自他を大切にする 保護者
自己評価	PTA活動には積極的に参加している		学校に対して疑問・質問があるときには直接連絡をする
	学校の先生とは気兼ねなく話ができる	義務教育学校、コミュニティ・スクールについて多少知っている	自分の子ども以外の子どものことも大切にしている
他者評価	保護者は地域の行事に参加していると思う		
	保護者はPTA活動に参加していると思う		保護者は自分以外の子どものもことも大切にしていると思う
	自分の親は学校の先生とよい関係だと思う		自分の親は友だちにもやさしいと思う

“めざす地域・社会像” 達成状況評価のための質問項目 ～ 「応援したくなる学校」と思えるようになるために ～			
	人と人とのつながりを大切にする 地域・社会	学び続ける 地域・社会	自他を大切にする 地域・社会
自己評価	子どもを見たら声をかけるようにしている	学校運営協議会は 子ども・学校・地域・住民の未来を考えることに貢献している	近所の人と話すとき 学校や子どものことを話題にすることがある
	地域の行事や自治会の会議に参加している	義務教育学校 コミュニティ・スクールについてだいたい理解している	
他者評価	地域の人は学校や子どものことを考えてくれていると思う	地域の人は学校や子どものことを考えてくれていると思う	
	地域の人に挨拶や声をかけてもらう	近所や地域の人と話をすることがある	

“めざす職員像” 達成状況評価のための質問項目 ～ 「働きたい学校」にするために ～			
	人と人とのつながりを大切にする 職員	学び続ける 職員	自他を大切にする 職員
自己評価	よりよい学級・学習集団づくりを意識して具体的な取組や関わりをしている	新学習指導要領の趣旨を理解している (教員以外：県or市の人材育成方針の概略を理解している)	ワーク・ライフ・バランスを意識した
	校務分掌や授業、行事のことで、異校種学校の職員等と積極的に連携・協力している		年次有給休暇を半期に5日以上取得した
	外部の関係機関や人と連携・協働した	研究主題に沿った授業改善ができた (教員以外：業務改善ができた)	月あたり時間外勤務時間の平均が40時間以下であった
	地域の人と積極的に挨拶や会話を 地域の人と積極的に挨拶や会話を 地域の資源を活用することを考えている		
他者評価	学校は地域のことを考えていると思う	職員は子どもたちの好奇心ややる気を高めるような授業を行っていると思う	職員は自分の体や家庭のことを大切にしていると思う
	職員は保護者や地域の人に挨拶をしていると思う		
	先生は親や地域の人とつながっていると思う	先生はわかりやすく楽しい授業をしてくれる	先生は自分のことや家族のことを大切にしていると思う

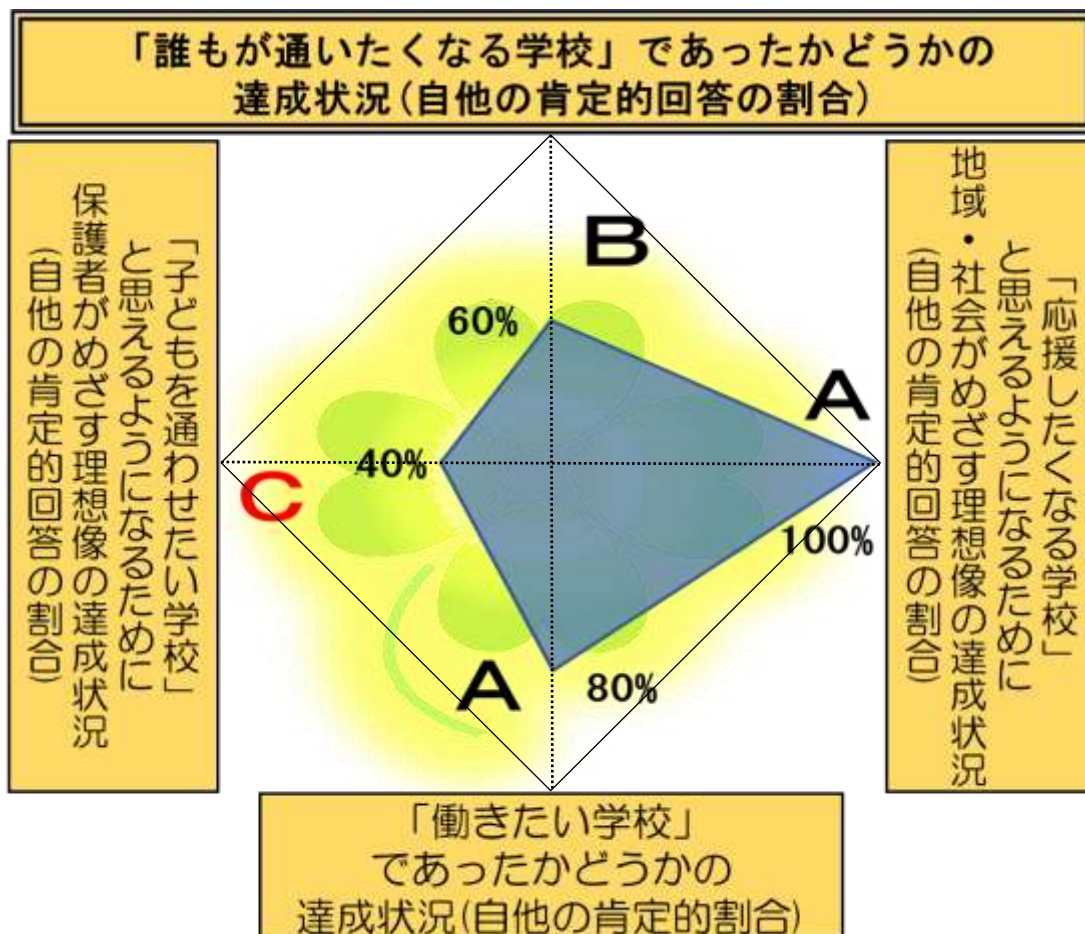
◆前述の質問項目ごとに4段階評価でのアンケートを年2回（前期：10月、後期：2月）実施する。

肯定的回答		否定的回答	
当てはまる	どちらかという と当てはまる	どちらかという と当てはまらない	当てはまらない

◆4段階評価でのアンケート結果を集計後、“四者それぞれの“めざす〇〇像” 肯定的回答の全体に対する割合、を出す。その際、以下のような基準で3段階の評定等をし、次年度の重点を設定する。

80%以上の肯定的回答	50%以上～80%未満の肯定的回答	50%未満の肯定的回答
A	B	C
	より効果的なことはないかを模索する	必ず要因分析と改善策を考え、実行に移す

◆ “四者それぞれの“めざす〇〇像” 肯定的回答の全体に対する割合、をレーダーチャートに表したものを**“めざす学校像”の達成状況**と考え、このグラフを総合的な『学校評価』にしたいと考えている。
※グラフの形が最大の正方形になることをめざす。



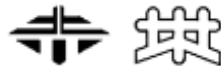
学校評価結果「後期(10~2月)」→今年度の評価とする

以下の点をご了承ください。

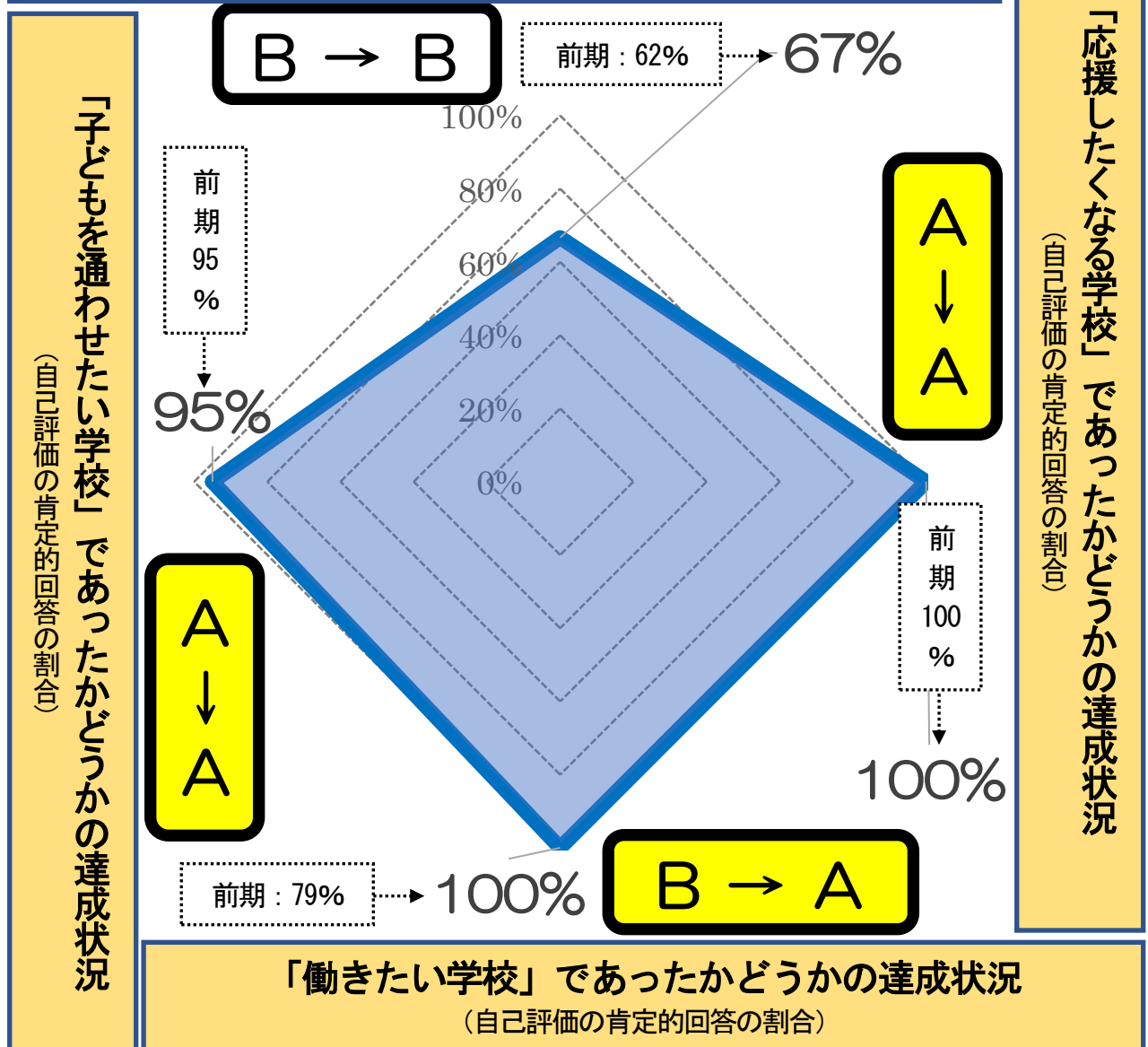
前期時点で確認をしているが…

- ・予定していた評価項目の表現を若干変えているところがある。
- ・「自他の肯定的回答の割合」をレーダーチャートに表せると思っていたが、難しかったため、“めざす学校像”の達成状況は、それぞれの“自己評価の肯定的回答の割合”とした。
- ・他者評価については、4つの“めざす〇〇像”について行い、自己評価と列記することでその隔たりを見ることとした。
- ・保護者は、「地元保護者」「山村留学センター職員代表」「受入農家代表」の自己評価

“めざす学校像” 評価結果



「誰もが通いたくなる学校」であったかどうかの達成状況
(自己評価の肯定的回答の割合)



「子どもを通わせたい学校」であったかどうかの達成状況
(自己評価の肯定的回答の割合)

「応援したくなる学校」であったかどうかの達成状況
(自己評価の肯定的回答の割合)

「働きたい学校」であったかどうかの達成状況
(自己評価の肯定的回答の割合)

“めざす〇〇像” 評価結果

子どもの自己評価

	項 目	肯定的回答		評 価	
		前 期	後 期	前 期	後 期
めざす子ども像	人と人とのつながりを大切にする子ども	91%	93%	A	A
	学びをつなぐ子ども	83%	82%	A	A
	自他を大切にする子ども	83%	87%	A	A

保護者による子ども評価

	項 目	肯定的回答		評 価	
		前 期	後 期	前 期	後 期
めざす子ども像	人と人とのつながりを大切にする子ども	67%	75%	B	B
	学びをつなぐ子ども	68%	75%	B	B
	自他を大切にする子ども	85%	85%	A	A

地域・社会による子ども評価

	項 目	肯定的回答		評 価	
		前 期	後 期	前 期	後 期
めざす子ども像	人と人とのつながりを大切にする子ども	67%	82%	B	A
	学びをつなぐ子ども	64%	100%	B	A
	自他を大切にする子ども	82%	100%	A	A

職員による子ども評価

	項 目	肯定的回答		評 価	
		前 期	後 期	前 期	後 期
めざす子ども像	人と人とのつながりを大切にする子ども	50%	74%	B	B
	学びをつなぐ子ども	61%	62%	B	B
	自他を大切にする子ども	64%	77%	B	B

保護者の自己評価

め や す 保 護 者 自 像	項 目	肯定的回答		評 価	
		前 期	後 期	前 期	後 期
	人と人とのつながりを大切にする保護者	88%	90%	A	A
	学び続ける保護者	75%	78%	B	B
	自他を大切にする保護者	90%	95%	A	A

子どもによる保護者評価

め や す 保 護 者 自 像	項 目	肯定的回答		評 価	
		前 期	後 期	前 期	後 期
	人と人とのつながりを大切にする保護者	97%	97%	A	A
	学び続ける保護者				
	自他を大切にする保護者	86%	100%	A	A

地域・社会による保護者評価

め や す 保 護 者 自 像	項 目	肯定的回答		評 価	
		前 期	後 期	前 期	後 期
	人と人とのつながりを大切にする保護者	64%	64%	B	B
	学び続ける保護者				
	自他を大切にする保護者				

職員による保護者評価

め や す 保 護 者 自 像	項 目	肯定的回答		評 価	
		前 期	後 期	前 期	後 期
	人と人とのつながりを大切にする保護者	100%	100%	A	A
	学び続ける保護者	100%	100%	A	A
	自他を大切にする保護者	100%	92%	A	A

地域・社会の自己評価

めい 地域・社会像	項 目	肯定的回答		評 価	
		前 期	後 期	前 期	後 期
	人と人とのつながりを大切にする地域・社会	95 %	100%	A	A
	学び続ける地域・社会	91 %	91%	A	A
	自他を大切にする地域・社会	82 %	91%	A	A

子どもによる地域・社会評価

めい 地域・社会像	項 目	肯定的回答		評 価	
		前 期	後 期	前 期	後 期
	人と人とのつながりを大切にする地域・社会	100 %	97%	A	A
	学び続ける地域・社会	97 %	87%	A	A
	自他を大切にする地域・社会	97 %	87%	A	A

保護者による地域・社会評価

めい 地域・社会像	項 目	肯定的回答		評 価	
		前 期	後 期	前 期	後 期
	人と人とのつながりを大切にする地域・社会	95 %	70%	A	A
	学び続ける地域・社会	95 %	70%	A	A
	自他を大切にする地域・社会				

職員による地域・社会評価

めい 地域・社会像	項 目	肯定的回答		評 価	
		前 期	後 期	前 期	後 期
	人と人とのつながりを大切にする地域・社会	100%	100%	A	A
	学び続ける地域・社会	100%	100%	A	A
	自他を大切にする地域・社会				

職員の自己評価

めやす 職員像	項 目	肯定的回答		評 価	
		前 期	後 期	前 期	後 期
	人と人とのつながりを大切にする職員	84 %	94%	A	A
	学び続ける職員	71 %	85%	B	A
	自他を大切にする職員	76 %	90%	B	A

子どもによる職員評価

めやす 職員像	項 目	肯定的回答		評 価	
		前 期	後 期	前 期	後 期
	人と人とのつながりを大切にする職員	97 %	90%	A	A
	学び続ける職員	79 %	70%	B	B
	自他を大切にする職員	90 %	90%	A	A

保護者による職員評価

めやす 職員像	項 目	肯定的回答		評 価	
		前 期	後 期	前 期	後 期
	人と人とのつながりを大切にする職員	95 %	98%	A	A
	学び続ける職員	90 %	85%	A	A
	自他を大切にする職員	55 %	60%	B	B

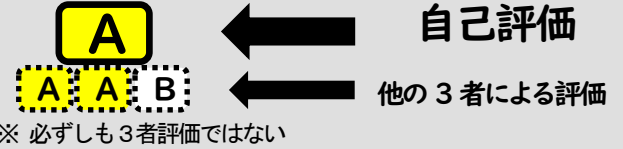
地域・社会による職員評価

めやす 職員像	項 目	肯定的回答		評 価	
		前 期	後 期	前 期	後 期
	人と人とのつながりを大切にする職員	100 %	100%	A	A
	学び続ける職員	73 %	91%	B	A
	自他を大切にする職員	82 %	82%	A	A

学校評価・後期結果一覧

前期と評価が
変わった箇所

<評価の見方>



自己評価と他
者評価にすれ
がある項目

めざす子ども像

学びをつな
ぐ子ども

自他を
大切にする
子ども

地域からの評価が上がった
B ⇒ A

学び続ける
保護者

人と人との関わりを大切にする

自他を大切にする
地域・社会

めざす地域・社会像

めざす保護者像

人と人との関わりを大切にする

子どもを通わせたい学校

誰もが通いたい学校

応援したくなる学校

人と人との関わりを大切にする

自他を大切にする
保護者

人と人との関わりを大切にする

学び続ける
地域・社会

学び続ける
職員

めざす職員像

自他を大切にする
職員

自己評価が上がった
地域からの評価が上がった
B ⇒ A

評価結果からわかるよい点

- ☆ 評価が下がる項目がひとつもなかった
- ☆ ほとんどが「A」評価であった

評価結果からわかる課題

<子どもに関すること>

【めざす学校像】(子どもの自己評価)

「北三瓶小・中学校は、

『誰もが通いたくなる学校』である」

⇒ 肯定的意見が67%の B 評価

前期：62% B評価

昨年度評価項目「学校に来るのが楽しい」…前期：73% B評価 ⇒ 後期：87%A評価

子どもの自己評価 「自分のことが好きだ」

⇒ 肯定的意見 前期 45% C 評価

後期 60% B 評価

総合的な評価は上がってはいるが、評価項目ひとつひとつを見ていくと、**否定的意見が増えている自己評価項目が7つもある。**

その中のひとつ…

評価項目「自分の考えをまとめたり伝えたりすることは好きだ」

前期：79% B評価 ⇒ 後期：63% B評価

学年・学級別に分析した際、評価が下がっている項目があるにもかかわらず、自由意見が出てきていない状況がある。

⇒ 学校・職員に対する不信感!?

<保護者に関すること>

【めざす学校像】(保護者自己評価)

「北三瓶小・中学校は、『子どもを通わせたい学校』である」

⇒ 否定的意見がある [前期も後期も1]

<地域・社会に関すること>

地域・社会自己評価項目の否定的意見が減少しなかった(コミュニティ・スクールの件や子どものことを話題にすること等)こと等

⇒ 義務教育学校等に関する情報等が流れない現状に憂い

⇒ 学校の存続を通して、地域の未来を考える必要性

<職員に関すること>

評価項目「子どもたちは`会話が上手である、と思う」及び「子どもたちは`宿題や勉強を自主的にしている、と思う」の評価が両方とも46%のC評価であった。

⇒ その指導や環境をつくることが十分できなかった証し

次年度への申し送り(案)

◎ 信頼される学校になるために

～ 学校教育全体を通じた 人間(友だち)関係醸成のための具体策 ～

～ 子どもたちに確かな力をつける指導(不断の授業改善) ～

◎ 義務教育学校移行の具体について

～ それに伴う各種組織等の見直し ～